

科目区分	統合分野	履修学年	2年後期	単位数	1	時間数	15
科目名	医療安全 I			担当教員	外部講師		
使用テキスト	1) メディカ出版 看護の統合と実践 ②医療安全						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 学研メディカル できるナースの動き方がわかる 多重課題クリアノート 2) 医学書院 系統看護学講座 統合 医療安全						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>医療事故や医療過誤が発生する要員は人間の特性であることを認識し、医療現場の事故の特徴、予防方法、事故発生時の対応、看護の基本的な責務の事例を用いて医療安全の学習ができる。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師の法的規定について理解できる。 2. ヒューマンエラーは人間の特徴と環境が関係していることを、人間の基本特性とエラーを誘発しやすい環境との説明ができる。 3. 医療機関における安全対策の仕組みについて理解できる。 4. 医療機関における安全対策の視点から原因を分析し対策を検討しなければいけないことを理解する。 5. 安全対策には患者・家族との協働も必要であることを理解する。 6. 医療事故の法的責任について理解できる。 7. 看護業務を行う際の環境とリスクを理解できる。 8. 主な医療事故の背景、要因、対策について理解できる。 9. 危険予知について意識できるようになる。 							
評価方法	筆記試験						
備考	関連項目：基礎分野,専門基礎分野,専門分野						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	医療の質と安全①社会の変化と取り巻く環境 ②事故の現状と課題 ③医療事故の発生メカニズム ④ヒューマンエラー ⑤医療安全管理者の知識	外部講師
2	医療機関における安全対策①組織 ②事故の原因と対策の検討・実施 ③患者・家族との協働 ④安全文化	外部講師
3	医療過誤・医療訴訟における法的責任①医療安全と法 ②医療事故現場、 ③医療過誤訴訟	外部講師
4	医療過誤・医療訴訟における法的責任①医療過誤における責任 ②医療安全をめぐる法的責任	外部講師
5	看護における医療安全対策①診療補助業務に伴う事故防止 ②療養上の世話に伴う事故防止 ③コミュニケーションと事故防止 医療専門職者で共通する間違いと発生要因	外部講師
6	看護師の労働安全衛生上の事故防止	外部講師
7	医療安全対策と国内外の潮流	外部講師
8	終講試験 まとめ解説	